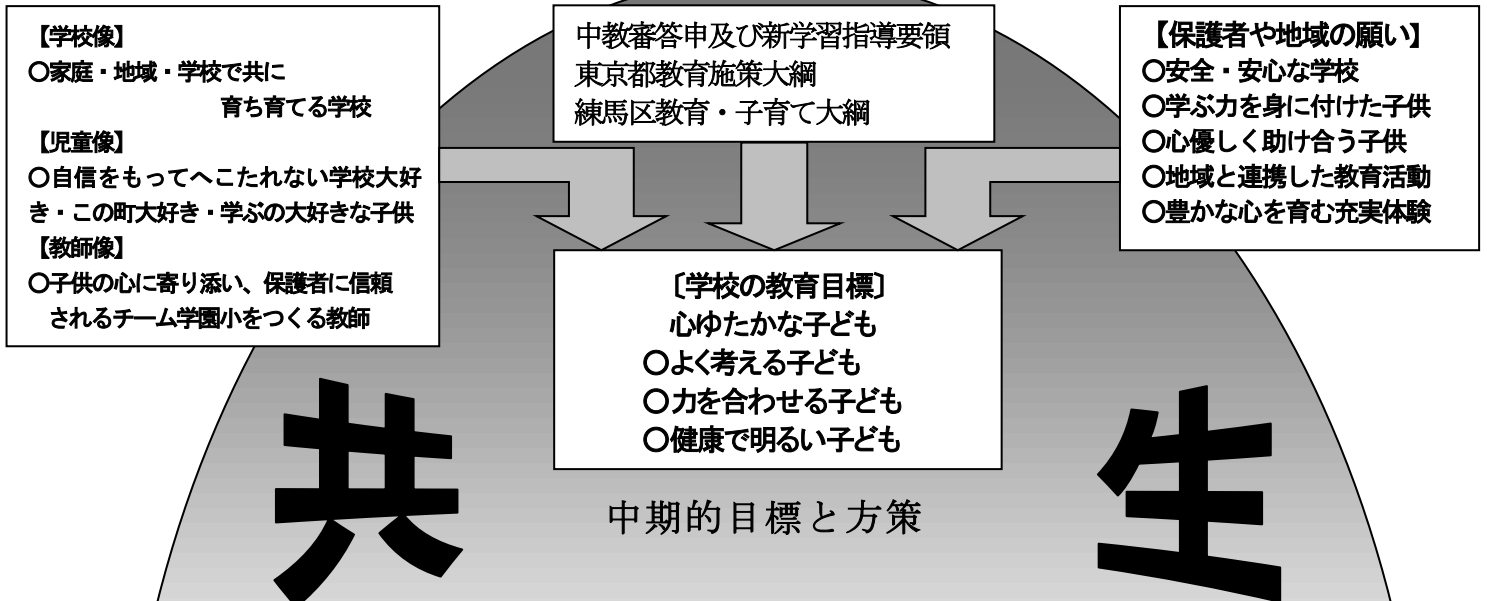


令和6年度 練馬区立大泉学園小学校 学校経営計画



共 育 教育の質の向上	協 育 家庭、地域と連携した教育の推進	今日行く 子供たちに寄り添う教育の推進
<ul style="list-style-type: none"> ○よく分かる授業の実現 (話す・聞く力の向上) ○校内研究(特別な教科道徳)を中心に、日常的なPDCAサイクルを組織で運営した、授業力の向上 ○教育課程の適正実施のもと、知徳体の調和のとれた学びの実現・充実 ○習熟度別少人数指導の充実 ○異学年交流(なかよし)を生かした効果的な教育 ○読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全な環境を整備し、安心して通える学校 ○家庭学習の定着による学力の向上 ○家庭・地域の力を生かした学校運営や教育活動の推進 ○地域の防災拠点として連携を充実 ○幼保小・小中一貫教育の積極的な連携によるスムーズな学びの継続 ○地域・保護者・関わる方々から信頼されるチーム学園小 	<ul style="list-style-type: none"> ○常に報告・連絡・相談を基本にした風通しの良い学校 ○いじめ・不登校などの未然防止、早期発見、迅速な対応 ○学校生活支援シートの活用 ○特別支援教育における指導法をいかした教育のインクルージョンを推進し児童一人一人の自己肯定感の向上を図る。 ○「ひまわり学級」と通常学級との積極的な交流及び共同学習

<p style="text-align: center;">目標達成のために目指す教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供とともに自らもいきいきと教育活動を進める教師 ○子供の幸せと成長を願い、心に寄り添うことのできる教師 ○プロ意識と情熱をもち常に向上しようとする教師 ○チーム学園小の一員として積極的に取り組む教師 	<p style="text-align: center;">学校経営上の努力事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告・連絡・相談による共有と共働 ○実態把握と効果の検証に基づく研究 ○教師が学び、高め合う研修の実践 ○学校外の人的資源、環境を生かす教育活動の推進
--	---

本日はご多用のところ保護者会にお越しいただきありがとうございます。

本校校長の本橋教子です。

先日入学式でもご紹介させていただきましたが、本校は3つの「きょういく」をかかげています。

お手元の経営計画をごらんください。

共育

子供とともに大人も育つ共育です。

子育て中はハプニングや驚きの連続です。これは学校教育の中での教師と子供の関係にも言えることです。大人であっても、今まで気付かなかった様々なことに、子供のおかげで気付かされることが多々あると思います。いつも同じ方向を向いて一緒に悩み、考え、育っていかうとする。そんな大人とこどもの関係でありたいものです。

協育

地域、家庭、学校の三者が力を合わせて子供を育てていく協育です。

ときに三者以上の大きな輪になることもあることでしょう。子供を囲むこの輪がしなやかにしっかりつながっていれば、その中で子供たちは安心して成長していけると考えます。学校での出来事など「あれ？」と思ったら学校にご連絡ください。直接担任に伝えるにくいことは管理職にお知らせください。

事実や考えを共有していくことが確かなつながりとなり、大人を信頼し尊敬できる子供を育てることができると考えます。

今日いく

なにかあればすぐに対処することを常にめざします。先ほども申し上げた「あれ？」には必ず原因があります。互いの思いや考えを正直に明らかにして、心通わせて行くことがよりよい教育環境につながると考えます。

同じ子を持つ親としてご助言できることは本当に子供の成長は早いということです。

私自身、子供の心に寄り添うとはどういうことか？

社会人にむけてどこまでいえばいいのか？

自分は子離れできているのか？

大変悩みました。

社会で生き生きと活躍できる人材を育てる学園小を目指し、今日より共に進んで参りましょう。

どうぞよろしく願いいたします。